

	
<p>6 主な成果</p>	<p>○岩村明憲氏の講演からは、世界と戦うための心構えや、苦しいことに耐えて努力することで自分自身が成長し成果を得られること、地元でオリンピックが開催されることは世界各地から高い意識と優れた技能をもった選手が集まる貴重な機会であることを学び、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</p> <p>○生徒からは、自分も実際に野球・ソフトボール競技を見たい、大会が盛り上がるように何か貢献したい、世界・全国から集まる人々と関わりもてなしたい、福島市のよさを世界にアピールしたいというような感想が得られ、地元での競技の開催に対する興味・関心の高まりが見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○本校が立地する地域は郊外の住宅地であり、本事業との関連を図るべき特段の社会的条件が見当たらないため、オリンピック・パラリンピックやスポーツそのものに対する生徒の興味・関心の向上に主眼を置くこととし、本校部活動顧問の人脈を生かして講師を招聘した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○地元で開催されることから野球・ソフトボールにしぼったが、競技の特性もあり、競技そのものへの関心を高める体験活動等を設けられなかった。生徒が体を使って競技の楽しさおもしろさを味わえる機会をつくれればなおよかった。</p> <p>○地元開催とはいえ、競技会場となる球場が生徒の日常生活エリアから比較的遠いため、地元開催についてイメージを高めさせることが難しかった。</p> <p>○今回は、本校部活動顧問の人脈を駆使して講師を招聘したが、著名な講師を招くのは、日時の調整や経費においても難しいと感じた。</p>
<p>9来年度以降 の実施予定</p>	<p>○詳細は未定であるが、保健体育科の学習内容と関連させてスポーツに対する興味・関心の向上や共生社会に対する理解を図るなどして、オリンピック地元開催への機運の醸成をさらに進める取り組みを構想している。</p>